

一般会計(歳入)

市に入る1年間のお金が歳入です。市民の皆さんに負担していただく市税は、前年度比3・7%減の27億4,815万円を見込んでいます。1人当たりで換算すると9万6,220円(平成20年3月1日現在人口で計算)を納めていただくことになります。

市税や使用料など市独自の

収入(自主財源)は、歳入全体の約24・5%しかなく、残りの約75・5%は国から交付される地方交付税、国や県からの支出金、市債(市の借金)などで、非常に足腰の弱い財政構造となっています。

歳入の中で最も多くの割合を占めるのは地方交付税で、歳入の約48・4%、92億円(前年度比5・7%増)を見込んでいます。

一般会計(歳出)

市が1年間に使うお金が歳出です。市民1人当りに換算すると66万5,593円(平成20年3月1日現在人口で計算)で、前年度と比較すると4万9,026円の増となっています。

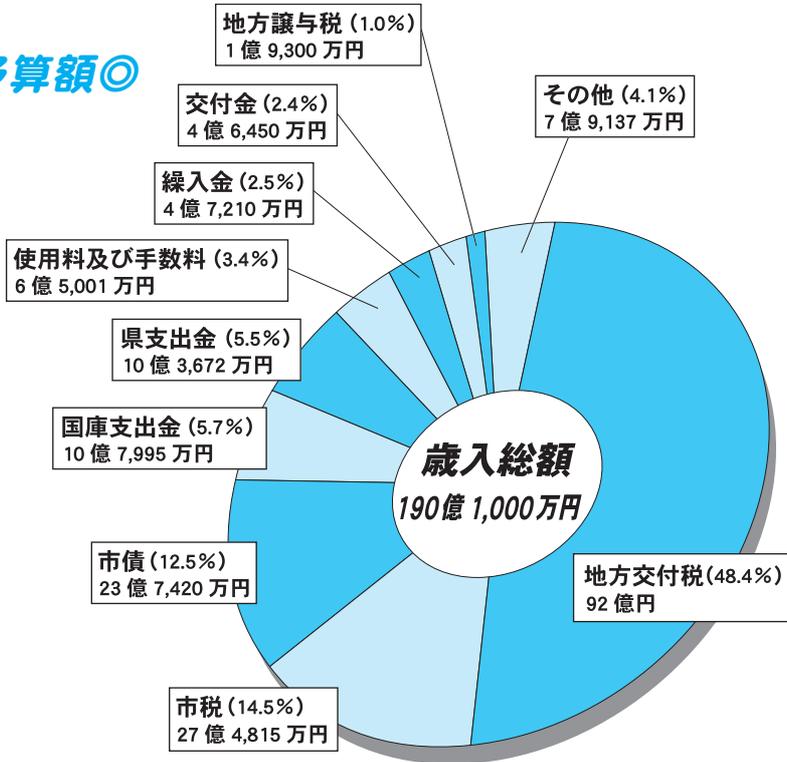
歳出で最も多いのは借金の返済金にあたる公債費で、43億5,603万円、歳出全体の22・9%を占めています。

これは、合併前後の大型事業による借入金の償還が増えてきたことに加え、後年度の公債費負担を少しでも軽減させるために5億5,900万円の繰上償還を実施することに伴うものです。

次いで、福祉施策に使われる民生費の36億4,066万円(全体の19・2%)、八鹿青溪中学校の整備などを行う教育費の21億3,248万円(全体の11・2%)、保健衛生事業、八鹿病院の負担金を含む衛生費の20億9,222万円(全体の11・0%)と続きます。

歳出を性質別(物を買う、道を造るといった)どのよう

みる予算額◎



平成20年度 主な事業



「安心」なまちづくり

- 小中学校の耐震化事業【新規】……………1, 090万円
- 宿南水害対策関連事業……………500万円
- 防災ヘリ燃料貯蔵庫整備【新規】……………50万円
- 高規格救急車購入【新規】……………2, 950万円
- 防火水槽整備4基【新規】……………1, 800万円
- 除雪対応車両購入・2トンドンプ1台【新規】……………500万円
- 八鹿病院の負担金……………9億3, 507万円
- 健康予防事業(市民ドック、感染予防事業)……………6, 820万円
- 乳幼児等医療費助成……………2, 843万円
- 障害者(児)日中一時支援事業……………8億53万円
- 母子家庭の支援……………8, 791万円
- 障害児等療育支援事業【新規】……………1億89万円
- 後期高齢者医療事業……………3億3, 699万円
- 障害者自立支援特別対策事業【新規】……………7億30万円
- 地域介護・福祉空間整備事業【新規】……………5, 500万円

「活力」あるまちづくり

- 有害鳥獣対策(有害鳥獣防除用柵・捕獲オリの設置補助)……………2, 018万円